

東京湾の良好な自然環境が失われつつあった昭和40年代、東京都は葛西臨海公園の造成をおこなってきました。昔から、葛西には三枚洲・高洲といった広大な干潟があり魚貝類が豊富で、それらをえさとする鳥類が飛来・繁殖する場所でした。そこで葛西臨海公園鳥類園では、淡水池・汽水池及び広大な森を人工的に造成し、かつての葛西沖のような豊かな自然環境の創出に努めています。

開園：平成6年4月21日
面積：27.1ha



The Tokyo Metropolitan Government began construction of Kasai Rinkai Park during the Showa Era(1965~1974), a time when Tokyo Bay was losing its valuable natural environment. The Kasai area incorporates vast tidelands such as Sanmaizu & Takasu, is abundant with fish and shellfish, and birds once flew here and used the area for feeding and breeding. In an effort to restore historic Kasai Offshore to its original rich natural environment, the Bird Sanctuary was constructed which includes a vast artificial forest and brackish and fresh water ponds.

イベント



ガイドツアー
毎月第2日曜日
14:00~15:00
スタッフと一緒に野鳥をはじめ、さまざまな生きものを観察。



ひがた・たんぼ倶楽部
毎月第1・3土曜日
13:00~15:30
※特別催事日や夏期に中止することがあります。
ヨシを刈って鳥を呼ぼう！を言葉に植生管理のお手伝い。



自然“感”察会
毎月第4土曜日
14:00~15:30
五感を使って植物に触れる「観察」ガイドツアー。



ナイトウォッチング
8月下旬~9月中旬
夜の鳥類園で、カニやカエル、鳴く虫などを探して観察するツアー。

写真・文協力：NPO法人生態教育センター 発行：公益財団法人東京都公園協会

鳥類園の上の池と下の池及び東なぎさを見わたせる2階建ての施設です。ここでは、映像やパネルによる展示が楽しめるほか、フィールドスコープによる野鳥観察ができます。

凡例
多目的トイレ
Barrier-free restroom

一年中 観られる鳥



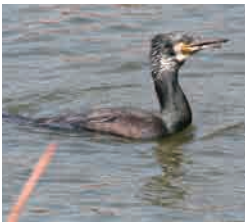
カイツブリ

ハトよりも小さい。水中に潜って魚などを捕らえます。「キュルルルル…」と甲高い声。水草などを集めた「浮き巣」で繁殖します。生まれたばかりのヒナは背中にのせます。



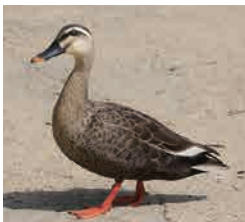
オナガ

スズメよりもずっと大きい。長い尾羽が特徴で、姿は美しいのですがカラスの仲間です。少数の群れで行動しています。



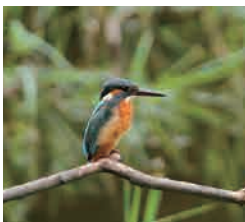
カワウ

カラスより大きい。上の池の杭の上で休んでいる姿をよく見かけます。翼を広げているのは、濡れた羽を乾かすためです。鵜飼で使う鵜はウミウという別の種です。



カルガモ

カラスくらい。くちばしの先が黄色い。6月頃、数羽から10羽ほどの雛を連れた姿が見られます。



カワセミ

スズメくらい。「チー—」と高い声で鳴きながら飛びます。杭などの上から水中にダイビングして、小魚などを捕まえます。

水鳥：アオサギ・ダイサギ・コサギ・イソシギ・ヒクイナ
陸鳥：キジバト・シジュウカラ・イソヒヨドリ・ヒヨドリ・ムクドリ・ハクセキレイ・カワラヒワ

春と秋に観られる鳥



アオアシシギ

ハトくらい。下の池の干潟にやってきます。「チョー、チョー、チョー」とよく通る声で鳴き、足の色は青というより緑に近いです。



キアシシギ

ハトより少し小さい。下の池の干潟にやってきます。春は胸のシマ模様が目印です。潮が満ちると、杭の上にあがって休みます。



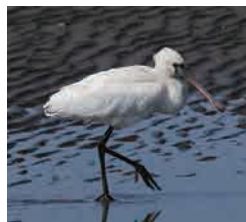
ソリハシシギ

ハトより小さい。下の池の干潟にやってきます。くちばしはやや上にそり、干潟の上を歩き回って餌をさがし、「ピリピリピリ」とよく通る声で鳴きます。



チュウシャクシギ

ハトくらい。下に曲がったくちばしの特徴です。「ピョピョピョピョピョ…」と変わった声で鳴き、カニを上手に捕まえて食べます。



クロツラヘラサギ

カラスより大きい。春と秋に1~2羽が東なぎさや鳥類園にやってきます。世界に6,000羽ほどしか生息していません。くちばしを水中で左右に振る、独特のえさの捕り方をします。

水鳥：シマアジ・アカアシシギ・キョウジョシギ・ハマシギ・イカルチドリ
陸鳥：センダイムシクイ・キビタキ・オオルリ・サンショウクイ

夏に観られる鳥



コアジサシ

ハトより小さい。スマートで、飛んでいる姿は白いツバメのようです。空中で羽ばたきながら狙いを定め、水中に飛び込み魚を捕らえます。西なぎさでは群れが見られます。



ヨシゴイ

ハトくらい。日本のサギの仲間では最小で、6月頃に東南アジアなどから渡ってきます。ヨシやガマの茂みについて、驚くと体を伸ばして「草の真似」をして隠れます。



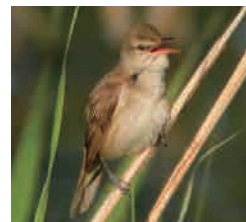
コチドリ

スズメより少し大きい。目の周りの黄色いリングが特徴で、春から秋まで下の池の干潟にやってきます。「ピオピオピオ…」と甲高い声で鳴きます。



チュウサギ

カラスくらい。中くらいの大きさの白鷺なのでチュウサギ。他のサギと比べると、水辺だけでなく、草はらにもバッタなどの昆虫を探しにきます。



オオヨシキリ

スズメより少し大きい。初夏に渡ってきてヨシ原で「ギョギョシ、ギョギョシ」と騒がしく鳴きます。一夫多妻といわれています。

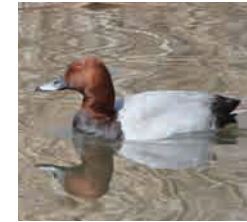
水鳥：ゴイサギ・ササゴイ・アマサギ・バン・ウミネコ
陸鳥：ツバメ・イワツバメ・ヒメアマツバメ・コムクドリ

冬に観られる鳥



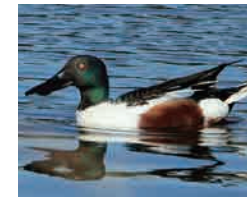
オオタカ

カラスくらい。園内の高いマツの木などによくまっています。時にはカモなどを襲う狩りの場面を目撃することもあります。



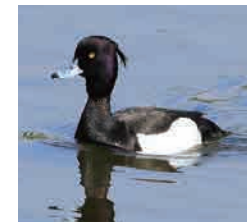
ホシハジロ

冬の上の池で一番数の多いカモの仲間。オスは赤茶色の頭と黒い胸が特徴です。夕方には海へ飛び立ちます。



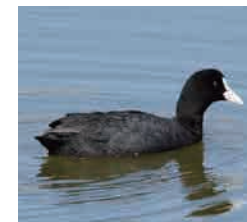
ハシビロガモ

頭は緑・体は白と茶色。くるくると回りながら、大きなくちばしで水面のプランクトンなどを食べます。



キンクロハジロ

頭の後ろに「おさげ」のような飾り羽があります。春になるにしたがい伸びてきます。



オオバン

クイナの仲間です。おでこからクチバシにかけて白いことが特徴です。水面だけでなく、陸にも上がり、草などを食べます。

水鳥：オカヨシガモ・ヒドリガモ・マガモ・オナガガモ・コガモ・スズガモ・クイナ・タシギ・ユリカモメ・セグロカモメ
陸鳥：ノスリ・ハヤブサ・モズ・ウグイス・トラツグミ・シロハラ・アカハラ・ツグミ・ジョウビタキ・アオジ・オオジュリン・ヤマガラ